

Dominant 第7回演奏会

妖精の夜会

荒木唯子(Vn) 綱川泰典(Fl) 古澤裕治(Cl) 坂田優咲(Hr) 岩城美智子(Pf)

サイガバレエ：ウタコ 小島直子 桑原麻実 他

F. フォークト / 三重奏曲 Op.75 A.F.ドップラー / ノクチュルヌ Op.19
G.フォーレ / 組曲「ドリー」Op.56より 他



2024年 2月9日(金)19時(開場18時30分)

全席自由 一般 3,000円 U25 1,500円 当日券もご用意しております。

ルーテル市ヶ谷センター Tel:03-3260-8621

都営地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 A1 出口 徒歩 7分 東京メトロ 有楽町線・南北線市ヶ谷駅 5&6番出口 徒歩 2分

お問い合わせ・チケットお取扱い窓口

Dominant 事務局 E-mail: dominant.concerts@gmail.com

主催：Dominant

後援：筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科 協力：全国盲学校音楽科設置校研究協議会

協力：一般社団法人青少年音楽協会

<Design by Y.F.>

《Dominant》は、視覚障害演奏家が世代を越え、ともに高め合う場であると同時に、母校の筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科の、視覚障害音楽専門機関としての役割と、その存在意義を発信し、日々、精力的な活動を続けている。》

荒木唯子 ヴァイオリン

東京都出身。6歳よりヴァイオリンを始める。1997年「全日本盲学生音楽コンクール」にて、第1位。2006年、桐朋学園芸術短期大学卒業。2003年、同大学の海外研修に参加。2001年～2005年夏、和波たかよし氏主催の、八ヶ岳サマーコースに参加。2010年3月、NHKホールにて「コバケンとその仲間たちオーケストラ」の、こころコンサートに出演、以後、同オーケストラのコンサートに多数出演。2010年8月「24時間テレビ」にて、TOKIOと241人の大コンサートにて、久石譲氏と共演。2018年5月、港区赤坂のカーサ・クラシカにて、単独公演を開催。近年では、NPO法人「歌の力」主催の、パラコンサートの出演や、ユーチューバーとしての活動を積極的に行う。大相撲観戦を趣味とし、開催時期には「大相撲特別企画」と題して、ヴァイオリンで取組の再現をする企画を実施、好評を博す。これまでに、福井和恵、内堀佳代、小川有紀子、和波たかよし、磯部舞子の各氏に師事。

綱川泰典 フルート

埼玉県出身。武蔵野音楽大学卒業。これまでに「ウインズ・ソロコンテスト」金賞及びヤマハ賞、「第6回ベストプレイヤーズコンテスト」部門優秀賞、「第10回日本クラシック音楽コンクール」全国大会入選、「第1回ドイツ音楽コンクール」優秀賞などを受賞の他、埼玉県三大偉人の賞「第1回埴保己一賞」奨励賞、第12回チャレンジ賞、2022年静岡県小さな親切運動実行章を受賞している。リサイタルやコンサートの企画、全国各地での演奏活動を行う一方、ニューヨーク・カーネギーホールやウィンザー城での演奏を始めドイツやオーストリアに数度渡りコンサート出演等海外でも活躍。指揮者小林研一郎氏の仲間オーケストラにも所属し、スペシャルオリンピックスの支援等障害福祉や災害復興のためのチャリティを行う。その他CD録音、TVやラジオ出演、作編曲、後進の指導も行っている。フリースクール元気学園講師。

古澤裕治 クラリネット

桐朋学園大学音楽学部にて北爪利世氏に師事。1966年～70年、フランス政府給費留学生としてフランスのルーアン市国立音楽院にてジャック・ランスロ氏に師事。1970年帰国後、演奏活動と共に桐朋学園大学子供のための音楽教室講師等を勤めた。ソルフェージュスクール講師。青少年音楽協会理事。

坂田優咲 ホルン

神奈川県出身。13歳よりホルンを始める。「第65回ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」第1位、「第24回長江杯国際音楽コンクール」アンサンブル部門最高位、「第1回視覚障害者のための国際音楽コンクール in 台湾」特別賞。青少年音楽協会主催「第70回記念チャペルリサイタル」、「第77回東京国際芸術協会新人演奏会（審査員賞受賞）」等に出演。ホルンを大見川満、勝俣泰、福川伸陽、日橋辰朗の各氏に師事。ダリウシュ・ミクルスキ氏のマスタークラスを受講。ソロ、室内楽、吹奏楽、オーケストラ等の活動のほか、後進の指導も行う。2018年には視覚障害音楽家による演奏団体「Dominant」を立ち上げ、以後定期的に公演を行っている。筑波大学附属視覚特別支援学校高等部音楽科及び東京音楽大学（初の点字入学）器楽専攻卒業。「コバケンとその仲間たちオーケストラ」メンバー。

岩城美智子 ピアノ

福岡県出身。武蔵野音楽大学卒業。主に管楽器奏者との共演をライフワークにしながら研鑽を続けている。福岡県立修猷館高等学校同窓会・東京修猷会主催、Salon de 修猷〈ピアノ・クラリネット・チェロの調べに〉、モンポウ記念ガラコンサート、九州現代音楽祭、北九州芸術祭等に室内楽で出演。声楽家との共演、オペラの練習ピアノ、故森敏孝氏指導の麻生合唱団をはじめとする合唱団ピアノも多く務めている。筑波大学附属視覚特別支援学校音楽科教諭。同校は、全国で希少な視覚障害音楽教育研究機関として点字楽譜研究、視覚障害音楽教育研究、演奏関連のセンター的役割を持つ。また音楽科卒業生による演奏団体〈Dominant〉に後援・協力をしている。

サイガバレエ

1961年、日仏学院の御好意で、学院内の一部屋を提供してもらい、スタート。国際色豊かな生徒が集り、ユニークなバレエ研究所と評判になり、舞台、テレビ、その他様々な分野で活動を始める。1977年、英国大使館文化部の尽力で初の海外公演。(スコットランド、ロンドン、スイス等)以後、スコットランド、アバディーン市のフェスティバルには、4年毎に参加。フェスティバルに貢献した事を表彰され、フェスティバルの永久会員になる。ティアラこうとうの連続公演においても、たく山の創作バレエを発表している。バレエ団の主な活動としては、童謡コンサートにおける童謡バレエ、青少年音楽協会のための教育的コンサート、バレエ鑑賞の仕事を多年に渡って続けている。